

第5号

衆議院議員 岡本あき子

黄色いリボンニュース

国会が開会、真摯な議論を戦わせます！！

立憲民主党
The Constitutional
Democratic Party of Japan

は、上からの押しつけではなく、市民の力による民主主義を実現します



1964年8月生まれ。向山幼稚園卒園、青森、秋田、会津などで過ごす。宮城県第二女子高、東北大学卒業。NTT(株)社員、仙台市議会議員(5期)を経て、第48回衆議院選挙で初当選。現在、衆議院予算委員、東日本大震災復興特別委員、立憲民主党幹事長補佐、東北ブロック常任幹事、宮城県総支部連合代表

第196回国会が開会しました

1月22日、第196回国会が開かれました。会期は1月22日から6月20日までの150日間です。

この国会では、憲法、働き方改革、景気・経済対策、カジノを含む統合型リゾート整備、原発ゼロ、森友・加計・スパコン問題などが争点として挙がっています。

憲法は、安倍総理が考える理想の国の形を表すものではなく、主権者たる国民が権力者を縛るものです(立憲主義)。これは、現行憲法を注意深く読めば明らかです。各党には、「国民がどう考えているのか」という国民の声に耳を傾けた議論が求められます。

カジノを含む統合型リゾート整備については、日本人の利用可能性も示されました。ギャンブル依存や治安悪化の懸念は言うに及ばず、です。訪日外国人を考えるならば、充実すべきは「伝統」や「文化」、そして「おもてなし」であり、これを地方活性化と合わせて考えるべきです。



原発に依存しない社会の実現に向け、現実
に立脚したリアリズムを持った政策として、
皆様にお示しするため準備を進めてきました
が、このほど「原発ゼロ基本法骨子案」をとり
まとめました。この案を国民の皆様にご提示し
（全国16か所を予定）、開かれた議論を通して、
その内容を深めたいという思いで国会に提出
してまいります（東北でも開催します。詳細は裏面で）。

皆様の思いを政策につなげるため、率直な
ご意見、ご提案をお待ちしています。

働き方改革について

「働き方改革」の考え方が、政府・自民党と立憲民主党では根本的に違います。

規制の緩和により、合法的にもっと長時間労働を可能にし、営業職まで拡大しようとしているのが、裁量労働制拡大を進める政府・自民党です。

一方、立憲民主党は、本当に働きやすい環境を作るためには、健康管理の徹底やインターバル規制、真のワークライフバランスなど、むしろ社会的規制の強化が有効と考えています。



日常の暮らし、現場のリアルな声に根差した、ボトムアップの政治を実現するため、立憲民主党は力を尽くして参ります。



つながる本部・エネルギー調査会 主催

「原発ゼロ基本法」タウンミーティング ～東北・福島～



日 時 2018年2月11日(日曜日) 14時00分～16時20分
(開場: 13時30分)

会 場 ビッグパレットふくしま 3階 中会議室A TEL: 024-947-8010
福島県郡山市南二丁目52番地(郡山駅より車・バスで15分: 無料駐車場あり)

プログラム

1. 立憲民主党原発ゼロ基本法骨子案について(ご説明)
2. 「原発ゼロ」社会を実現するために(ワークショップ)
3. 参加者による対話、意見交換 ほか



発行元 : 立憲民主党宮城県第1区総支部(兼 宮城県連・東北ブロック連絡所)
〒980-0802 仙台市青葉区二日町2-1-4F
TEL 022-393-7761 FAX 022-393-7236